

人権のひろば

Vol.234

「人権のひろば」に対するご意見、ご感想は戦略企画室 広報広聴グループ または、人権室までお寄せください。

SDGs についてなんだろう？

「明るい未来に向けて、

できることから始めてみませんか」

皆さんは「SDGs（※）」という言葉を聞いたことがありますか。

これは、2015年9月の国連サミットで採択された国際目標のことで、世界全体が一丸となって社会が抱える問題を解決し、明るい未来をつくるために掲げられたものです。その内容は、持続可能な世界を実現するための17のゴール（目標）とそれにひも付く具体的な169のターゲット（達成基準）で構成され、「誰一人取り残さない」の理念の下、全ての人々の人権が尊重される社会の実現をめざしています。

2025年に大阪市夢洲で開催される「大阪・関西万博」も、「SDGs」が達成される社会をめざすことを目的の一つとして掲げ、

誘致が行われました。

また、行政だけでなく、民間企業でも取り組みが進められており、言葉自体は聞いたことがなくても、テレビなどで、下図の「GOALS」の「O」をかたどったバッジを着けている人を見たことがあられるかもしれません。



では、具体的に、SDGsにはどのような目標があるのでしょうか。下図の17のゴールを見てみると、貧困や飢餓、教育、ジェンダー、平等、平和など、人々が暮らす上での基本的な権利の実現が掲げら

れています。その一方で、世界目標だけあって、どれも壮大で、私たちの生活とはかけ離れたところにあるように感じ、個人として関わることは難しいかもしれません。しかし、本当にそうでしょうか。

世界を変えるための大きな目標ではありませんが、実は、目標達成のために、私たちの日常生活で簡単に取り入れられることもたくさんあるのです。

例えば、「電気機器を使っているときには完全に電源を切り、電気を節約する」「買い物にマイバッグを持参する」「性別などで役割を決めつけることなく、お互いに協力して家事を行う」「困っている人がいれば声を掛ける」などです。

例に挙げたことは、ささいなことですが、一人ひとりの小さな心掛けや行動の積み重ねが大きな目標達成へとつながります。国際連合広報センターのホームページでは、「持続可能な社会のためにナマケモノにもできるアクション・ガイド」として、私たちにもできる行動の例が紹介されています。SDGsの実現に向け、できることから少しずつ行動してみませんか。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



※SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2030年をめざして、持続可能な社会を世界レベルで実現するための世界共通の目標のこと。

持続可能な社会のために
ナマケモノにもできる
アクション・ガイド

